



武藏野市のペール。1ペール当たり250～270kg程度。
 ほぼ毎日32ペールを大型車で再資源化事業者（※令和7年度下半期は埼玉県寄居にある（株）エコスマクトリー）に運ぶ。再資源化処理後ペレットになり、その後植木鉢やパレットになる。
 每日22～25ペールほど作成している。

可燃残渣のかご。
 每日50箱300kg程度武藏野クリーンセンターに戻しているが選別したもののなかで容リプラとして使えるものは戻す（※選別作業で一度手に取ったものは一旦ラインから除外するため、後で戻す）。
 ティッシュなど燃えるごみや汚れ物（ケチャップの入ったもの）が代表格。

不燃残渣
 写真は昨日出したばかりのため1日分相当。週2回武藏野クリーンセンターに戻す。リチウムイオン電池も週1ぐらいで入ってきており、まれに煙を吹きながら小型家電が流れてくる。
 ライターもプラで入ってくる（手前）。包丁や缶や瓶も入ってくる。医療ごみも入ることがある（点滴パックなど）。



武藏野市の容リプラの受け入れヤード
 ごみ収集車で毎日10台（1台あたりの
 プラ重量は7～800kg）入ってくる。

プラ選別の作業

かごの中は可燃残渣

ペットボトル



▲
武藏野市のペットボトル。
毎日収集車5台分の約1250kgほど
工場に入ってくる。

▲
視察時には処理が概ね終わっていた
ため貯留量が少なかったが、大木と
きには写真の壁の上端から溢れる程
度まであった。

▲
ラベルとキャップがついているもの
は、選別する際に手作業にて可能な
限り外すものの、つぶれないと外
しにくい。

▲
破袋した袋は、容リプラの工程に送
られる。

▲
右が1日、左が2日分の混在物。
できるだけ缶や瓶は分けて資源化するが、包丁やガスボンベ、スプレー缶が
入っていることもある。
まれにペットボトルに針や焼き鳥串がいっぱい入っていることもある。



▲
武藏野市の350個のベールを月6回、再資源化事業者（※令和7年度下半期は（株）ジャパンテック）に送付している。

▲
ウォーターサーバーのボトルは機械を損傷させてしまうため、可燃残渣として処理するが、市民が混乱しないように武藏野市の分別上はペットボトルとしている。これは週300kgほどである。
武藏野市のペットは、サーバーのボトルや色付きのボトルが多いが、これらは残渣扱いになってしまう。
なお、ウォーターサーバーのボトルを半分カットして出すのは、容協会としては×



| | | | | |
|---|------|--|---|--------------------------|
| 武藏野市から運ばれたびん 茶色のびん スタミナドリンク (株) ウィズウェイストへ | 白いびん | 混合色のびん⇒道路の材料になったりする 武藏野市:ワインが多い びんは現在月1トン程度 非常に少なく なった※10年前と比較するとペットとプラ が増えた | ヤードの設計上は赤いラインまで溜ま ることを想定していた。 現在では機械の稼働を止めないとここ までは来ない | スチール缶は少なく、ビールの缶がほ とんど |
|---|------|--|---|--------------------------|



| | | | | |
|--|-------------------------|--|------|--|
| 缶の選別ライン 選別後は圧縮され板状になる。 アルミ缶をプレスしたものは20kg。 スチール缶は40kg。 | 溶融設備 白色トレイはインゴットにする。 | 減容率は90分の1から100分の1程度。 1枚あたり13kg程度。 減容化しないと、大型トラックでも300kgしか積載できず、空気を運んでいる ようなもの。このように小さくすると大量に運べる。非常に硬く、叩くと乾いた音がする。 | 溶融設備 | 武藏野市の白色トレイのフレコン バック。 毎日10kgぐらい（容積ではフレコ ンの半分程度）が搬入される。 |
|--|-------------------------|--|------|--|



| | | | | | |
|-------------------------------|----------------------------------|---|-------------------|--------------------|---|
| ▲ 狛江と稲城のライン 分別収集物としての扱い | ▲ 容りと残渣率違う 3 %程度（本市は8 %程度） | ▲ 狛江市の選別ライン 殆ど手選別 磁選機を遣うと包丁が飛んでくること がある。（※稻城市は視察時は作業し ていなかった。） | ▲ 狛江市の選別ラインその2 | ▲ 狛江市の残渣はほとんど可燃 | ▲ 不燃残渣 1週間にフレコンバック4個の残渣 が出る。容協では「まな板」が ×。 |
|-------------------------------|----------------------------------|---|-------------------|--------------------|---|



| | | | |
|-----------------------------------|----------------------------|-----------------|--|
| ▲ 中間処理残渣 電池やライター、ボンベなども出てくる | ▲ 可燃残渣 2階から1階に落ちてくる。 | ▲ ペールを成型する機械 | ▲ ペールの置き場。稻城市は富山県へ月 12回、狛江市は広島県へ月6回、ペー ルを送付している。分別収集物は年 2回検査立ち合いが必要。製品プラ混 合だと引き受け手が限られる |
|-----------------------------------|----------------------------|-----------------|--|



試験的にペレットにする運用をしている 現在は小規模自治体を対象に実施している。植木鉢などに使用するペレットを作成しており、ゆくゆくは車の部品用のペレット生成を目指している。
大子町（茨城県）の容器プラの他、瑞穂町の硬質プラが写っている。

できあがったペレットのサンプル

作成する機械



瑞穂町のペットボトル。非常にきれい。

手選別作業

フレークを生成する機械

生成されたフレーク